

“地域に貢献する” JA あいらの



ご 案 内



令和5年度
上半期ディスクロージャー



届ける安心 広がる笑顔 生まれる信頼



目 次

ごあいさつ	1
I 当JAの概要（令和5年8月末現在）	2
（1）組合員数	2
（2）役員数	2
（3）職員数	2
II 開示項目	3
1. 農協法に基づく開示債権の状況及び金融再生法開示債権区分に基づく債権の保全状況	3
2. 単体自己資本比率（国内基準適用）	3
3. 主要勘定の状況	3
4. 有価証券等時価情報	4
III 地域貢献活動	5
1. 地域からの資金調達の状況	5
2. 地域への資金供給の状況	5
3. 文化的・社会的貢献に関する活動	6
IV 自己改革の実践に向けた取り組み状況について	9
1. 産地づくり10年ビジョンの実践	9
2. 組合員の収入拡大・コスト抑制対策	9
3. 中長期シミュレーションに基づく対応	10
4. 組合員の結集力強化戦略の実践	11
V 役員紹介	12
VI 店舗一覧	13

ご あ い さ つ

組合員をはじめ地域住民・利用者の皆様におかれましては、かねてよりJAの事業運営に深いご理解と絶大なるご支援・ご協力を賜り、衷心より感謝とお礼を申し上げます。

さて、わが国の経済は、コロナ禍からの社会経済活動正常化の動きが続いており緩やかな回復が期待されますが、海外景気の動向や物価上昇、供給面での制約等による下振れリスクに十分注意する必要があります。また農業を取り巻く環境においても、不安定な国際情勢を背景に、肥料・飼料をはじめとする農業資材の価格高騰が継続していますが、子牛相場、枝肉相場は下落が続いており、農畜産物の価格低迷は、農家経営に大きな影響をもたらしています。

国際貿易をめぐる情勢においては、経済のグローバル化が進み、農産物貿易においても国際競争が激しくなっているなか、今年7月にはTPPへの英国の正式加入が決定し、さらに、中国や台湾のTPP加盟申請など、今後、大きな影響を及ぼすことも想定されております。

一方、新型コロナウイルスに関しては、マスク着用ルールの緩和ならびに「5類」引き下げにより、消費者意識の変化を受けた国内消費の回復のみならず、インバウンド需要の増加により、堅調な回復傾向にあり、観光事業・外食産業のさらなる復調が見込まれることから、農畜産物の需要拡大に期待感が持たれます。

このような情勢のなか、JAあいらは、霧島市・始良市・湧水町を管内とする総合農協として、自己改革プランとしての第11次中期3か年計画の実践を通じて、自己改革をさらに徹底し、協同組合組織としての存在意義を明確にしながら、農業者の所得増大、農業生産の拡大に全力を挙げて取り組むとともに、地域の活性化に貢献しています。

金融事業においても、「JAバンク会員」として組合員・利用者から信頼される「食と農、地域社会に貢献するJAバンクあいら」を目指して、農業融資の拡大をはじめ、移動店舗車の運行など、様々な事業を展開しております。

今後も引き続き当JAの事業運営へご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、組合員をはじめ地域住民・利用者の皆様のご健勝とご多幸を祈念し、ごあいさつといたします。

令和5年11月

あいら農業協同組合

代表理事組合長 中條 秀二

I 当JAの概要（令和5年8月末現在）

●JAあいらの概要

名 称	あいら農業協同組合
所 在 地	鹿児島県霧島市国分中央三丁目3番10号
設 立	平成4年3月1日
貯 金 残 高	163,507,734千円
貸 出 金 残 高	26,368,289千円
出 資 金	3,818,453千円
処分未済持分	△119,131千円

(1) 組合員数

(単位：人)

		令和5年2月末	令和5年8月末
正 組 合 員		6,909	6,899
	個 人	6,801	6,784
	法 人	108	115
准 組 合 員		10,755	10,875
	個 人	10,632	10,752
	法 人	123	123
合 計		17,664	17,774

(2) 役員数

(単位：人)

		令和5年2月末	令和5年8月末
理 事	常 勤	3	3
	非 常 勤	15	16
	(計)	18	19
監 事	常 勤	1	1
	非 常 勤	5	5
	(計)	6	6
合 計		24	25

(3) 職員数

(単位：人)

		令和5年2月末	令和5年8月末
区 分			
参 事		3	2
職 員		235	229
計		238	231
常備臨時職員		94	83
合 計		332	314

II 開示項目

1. 農協法に基づく開示債権の状況及び金融再生法開示債権区分に基づく債権の保全状況

(単位：千円)

債権区分		債権額	保全額			
			担保	保証	引当	合計
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	令和5年8月末	171,117	43,589	51,824	46,477	141,890
	令和5年2月末	176,008	45,492	52,835	48,603	146,930
危険債権	令和5年8月末	122,252	21,313	38,718	921	60,952
	令和5年2月末	101,910	20,298	35,865	1,468	57,631
要管理債権	令和5年8月末	3,770	—	3,770	861	4,631
	令和5年2月末	273	—	273	—	273
三月以上延滞債権	令和5年8月末	3,770	—	3,770	861	4,631
	令和5年2月末	273	—	273	—	273
貸出条件緩和債権	令和5年8月末	—	—	—	—	—
	令和5年2月末	—	—	—	—	—
小計	令和5年8月末	297,139	64,902	94,312	48,259	207,473
	令和5年2月末	278,191	65,790	88,973	50,071	204,834
正常債権	令和5年8月末	26,118,950				
	令和5年2月末	24,302,075				
合計	令和5年8月末	26,416,089				
	令和5年2月末	24,580,266				

- (注) 1. 破産更生債権及びこれらに準ずる債権
破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。
2. 危険債権
債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。
3. 要管理債権
4. 「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と5. 「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額をいいます。
4. 三月以上延滞債権
元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権及び危険債権に該当しないものをいいます。
5. 貸出条件緩和債権
債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権及び三月以上延滞債権に該当しないものをいいます。
6. 正常債権
債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記に掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

2. 単体自己資本比率（国内基準適用）

令和5年2月末	令和5年8月末
13.97%	14.20%

(注) 「単体自己資本比率」は、「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」（平成18年金融庁・農水省告示第2号）（バーゼルⅢ）に基づき算出しております。

3. 主要勘定の状況

(単位：千円)

		令和4年8月末	令和5年2月末	令和5年8月末
貯	金	167,038,638	159,588,922	163,507,734
貸	出	22,880,466	24,543,755	26,368,289
預	金	135,696,464	124,422,796	123,647,649
有	価	2,505,260	4,855,375	6,890,687

4. 有価証券等時価情報

(1) 有価証券の時価情報

【満期保有目的の債権】

(単位：千円)

	種 類	令和5年2月末			令和5年8月末		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国 債	—	—	—	—	—	—
	地 方 債	—	—	—	700,000	701,270	1,270
	短 期 社 債	—	—	—	—	—	—
	社 債	—	—	—	—	—	—
	その他の証券	—	—	—	—	—	—
	小 計	—	—	—	700,000	701,270	1,270
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国 債	—	—	—	604,953	575,460	△29,493
	地 方 債	799,235	786,400	△12,835	1,399,274	1,381,380	△17,894
	短 期 社 債	—	—	—	—	—	—
	社 債	—	—	—	—	—	—
	その他の証券	—	—	—	—	—	—
	小 計	799,235	786,400	△12,835	2,004,227	1,956,840	△47,387
合 計	799,235	786,400	△12,835	2,704,227	2,658,110	△46,117	

【その他有価証券】

(単位：千円)

	種 類	令和5年2月末			令和5年8月末		
		貸借対照表計上額	取得原価又は償却原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価又は償却原価	差 額
貸借対照表計上額が取得原価又は償却原価を超えるもの	株 式	—	—	—	—	—	—
	債 券	—	—	—	—	—	—
	国 債	196,820	196,712	108	—	—	—
	地 方 債	—	—	—	—	—	—
	短 期 社 債	—	—	—	—	—	—
	社 債	—	—	—	—	—	—
	その他の証券	—	—	—	—	—	—
小 計	196,820	196,712	108	—	—	—	
貸借対照表計上額が取得原価又は償却原価を超えないもの	株 式	—	—	—	—	—	—
	債 券	—	—	—	—	—	—
	国 債	3,859,320	4,091,176	△231,856	4,186,460	4,482,723	△296,263
	地 方 債	—	—	—	—	—	—
	短 期 社 債	—	—	—	—	—	—
	社 債	—	—	—	—	—	—
	その他の証券	—	—	—	—	—	—
小 計	3,859,320	4,091,176	△231,856	4,186,460	4,482,723	△296,263	
合 計	4,056,140	4,287,888	△231,748	4,186,460	4,482,723	△296,263	

Ⅲ 地域貢献活動

当JAは、霧島市、始良市、始良郡湧水町を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営されている協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

当JAの資金は、その大半が組合員の皆さまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としております。当JAでは資金を必要とする組合員の皆さま方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。

当JAは、管内の全ての市町（霧島市、始良市、湧水町）から指定金融機関として指定を受け、組合員だけでなく地域住民すべての方へのサービスに努めています。

当JAは、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開しています。

また、JAの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助け合いを通じた社会貢献に努めています。

1. 地域からの資金調達の状況

(1) 貯金積金残高

当JAでは、組合員はもちろん地域住民の皆さまや事業主の皆さまからの貯金をお預かりしています。

【貯金積金残高 163,507,734千円】

(2) 貯金商品

当JAの代表的な貯金商品として、給与振込や年金振込ができる普通貯金や、まとまったお金に積み立てることのできる定期積金、そしてそのお金を長期にわたって安心してお預けいただける定期貯金などをご提供しています。本商品の内容や、当JAで取扱っている商品等の詳細につきましては、本所・各支店・支所・事業所窓口へご照会ください。

2. 地域への資金供給の状況

(1) 貸出金残高

組合員への貸出をはじめ、地域住民の皆さまの暮らしや、農業者・事業者の皆さまの事業に必要な資金を貸出しています。

また、地方公共団体、農業関連産業などへ貸出し、地域経済の質的向上・発展に貢献しています。

令和5年8月末

貸出金残高	26,368,289千円	
うち組合員等	14,786,118千円	56.08%
うち地方公共団体等	5,118,518千円	19.41%
うちその他	6,463,653千円	24.51%
貯金積金に占める貸出金の割合		16.13%

(2) 制度融資の取扱い状況

鹿児島県や当JA管内の市町と協調して、借入者の負担が少しでも軽減できる制度融資や独自農業資金も取扱っています。

資金名	取扱実績	制度の概要
農業近代化資金	639,299千円	農業施設、農機具、その他の施設の改良、造成、取得及び復旧等
アグリメイク資金	546,146千円	農業に関する設備資金、運転資金

3. 文化的・社会的貢献に関する活動

○ 安心・安全な食料の供給

環境と調和のとれた農業生産を促進し、ポジティブリスト制度への的確な対応にも取り組み、消費者に信頼される「安心・安全」な食料の供給に努めるとともに、地域の特性を活かした作物の生産振興ならびに地域農業の活性化に取り組み、食料の自給率向上に努めるため、J Aグループと一体となって日本の農業を守る農政運動を展開しています。

○ 地産地消の取り組み

A コープ国分店に併設された「J A産直市場」をはじめ、店舗への生産者直売コーナーを設置するとともに、「安心・安全」で新鮮な農産物・加工品を品揃えし、生産者と消費者のお互いの理解を深めながら地産地消に取り組んでいます。

また、畜産部門においても、子牛せり開催時に管内肥育農家が育てた牛肉を販売し、生産者と消費者を結びつける地産地消に取り組んでいます。

○ 担い手農家の育成

J Aあいら担い手担当チーム(T A F)は、地域営農ビジョン達成に向けて、ビジョン品目の中心となる組合員や部会の中核的農家からの声を聞く運動の強化と出向く体制整備を行い、組合員等からの意見や情報をJ A内で共有し、販売や購買事業に関して総合的な支援を行っています。

また、新規就農者に対しては、早期に経営が安定し定着化できるよう関係機関・団体等と連携し現場に出向き現状把握を行いながら、持続的な農業経営に向けた指導を行っています。

さらにJ A県中央会担い手サポートセンターと連携した、事業・経営・法人化支援の更なる取り組みによる組合員との関係性の強化を目的とした活動を展開しています。

○ 農業電子図書館の活用

組合員等から病害虫相談等を受けた際に、パソコンにより病害虫の写真、病状が確認でき、より適確な対応ができるようにしております。また、職員が所持しているスマートフォン・タブレット等でも確認することができ、組合員の畑やご自宅等でも営農指導員や複合渉外が情報提供を行っています。

○ 環境問題への取り組み

環境問題に対処するため、農業用ビニール・プラスチック等の回収、更には農薬の空容器や残農薬の回収に取り組んでいます。

また畜産部門においては資源リサイクル事業の活用により糞尿処理体制を整備し、環境問題に取り組んでいます。

○ 健康管理活動への取り組み

組合員・地域住民の健康管理への意識向上や健康チェックをはかるため、人間ドックの受診促進や事後相談に取り組んでいます。

○ 年金友の会各種イベントの開催

J Aあいら利用者年金友の会ではコロナ感染対策を取り歌舞踏ショーの開催や各支部において、ゲートボール大会、グラウンドゴルフ大会、ゴルフ大会等が開催されました。

○ J A共済3 Q訪問活動の取組み

J A共済は、最良の保障・価格・サービスによる「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供を通じて、協同組合が理念とする「相互扶助」を事業活動の原点とし、常に組合員・利用者の信頼と期待に応えるために、3 Q訪問活動に取り組んでいます。

* 3Q訪問活動とは、J A 共済加入者宅をお伺いし、いつもありがとうございますの（サンキュー）の意味と安心チェックとして3つのこと（請求漏れ・内容確認・提案）を確認する訪問活動です。

○ 食農教育活動の実施

今年で15回目となる管内の小学生（6～4年生）を対象とした「ちゃぐりんスクール2023」の募集を行い、管内16小学校から32名の応募がありました。

上期は稲の種まきや田植え、ブドウ園の観察、鹿児島黒牛について学習会を実施しています。

さらに、学校教育と連携した食農教育活動として、東部地域営農センターが青葉小学校へ田植え、国分北小学校・国分南小学校へバケツ稲作りの出前授業を実施しました。

女性部加治木・始良・蒲生支部と西部地域営農センター・各支店・支所が連携して、永原小学校・三船小学校・蒲生中学校・蒲生小学校・漆小学校へ、女性部横川支部と横川支所が連携して安良小学校へ、ゴーヤの苗植えを行い、緑のエコカーテンを設置しました。

また、女性部蒲生支部と支所が連携して、5月に植えたゴーヤを使用したゴーヤカレー作りを蒲生小学校で行いました。

○ 教育・文化活動の支援

小・中学生及び特別支援学校生を対象としたJ A 共済作品（書道・交通安全ポスター）コンクールを開催致しました。

J A の食農教育をすすめる子供向け雑誌「ちゃぐりん」や教育資材を各小学校に提供しています。

○ 情報発信

次世代への広報としてSNS（LINE、フェイスブック、ホームページ）を活用した情報発信に取り組み、J A とつながりの薄い世代への広報に取り組みました。

また、地域コミュニティ誌「あいらいく」では、管内A コープ等の生産者コーナーに出荷される生産者にインタビューし、「国消国産」をテーマとして発行（10,000部）しました。日本の農業生産基盤を維持することを目的に多くの方に「国消国産」を知ってもらい、国産農畜産物のことを考えるきっかけになるように編集・掲載し、行政や商工会議所、各商工会、各物産館、管内A コープ等に配付するなどPRに努めました。

8月22日に実施された県中央会主催の広報コンクールにおいて県下13J A の中、審査員特別賞「組合員向け広報誌の部」を受賞し、来年2月開催（予定）の全国広報大賞の審査会へ鹿児島県代表として4年連続で選出されました。

○ ボランティア活動による地域清掃活動

毎月第2水曜日を地域清掃活動の日と定め、本所、各営農センター、各支店・支所でボランティアによる地域清掃活動を実施しています。

○ 組合員全戸訪問活動の展開

J A と組合員・地域住民のきずなを深める活動の一環として、毎月第2土曜日に全職員による全戸訪問活動を実施しました。また、月毎に統一テーマを設定し、訪問先を選定しながら組合員・地域住民の必要とする情報提供を行っています。活動を通じて頂いた意見・要望については、進捗管理を行いながら事業に反映するよう取り組んでいます。

○ 支店を核とした地域貢献活動の展開

各支店・支所を中心に、地域貢献活動を積極的に展開しました。

加治木支所…… 小学校でグリーンカーテン設置・田植体験など

始良支店…… 小学校でグリーンカーテン設置など

蒲生支所…………… 小・中学校でグリーンカーテン設置、小学校で夏野菜カレー作りなど
溝辺支店…………… 小学校へもち水稲苗の提供
横川支所…………… 大隅横川駅保存活用実行委員会とのひな祭りイベント・平和コンサート参加、小
学校でグリーンカーテン設置など
栗野支所…………… 中学校で梅林の追肥・手入れ指導など
吉松支所…………… 地域清掃活動など
牧園支所…………… 高齢者支援活動友愛訪問（赤飯・かつお味噌配布）など
隼人支所…………… 小学校こども会で料理体験など
霧島支所…………… 地域清掃活動など
国分支店…………… 小学校でバケツ稲づくり・田植体験、錦江湾クリーンアップ大作戦参加など
福山支所…………… 高齢者支援活動見守り訪問、地域清掃活動など

IV 自己改革の実践に向けた取り組み状況について

J A あいらでは、令和3年6月に閣議決定された規制改革実施計画に基づき、組合員との対話を通じて自己改革を実践していくための「自己改革実践サイクル」を構築し、具体的方針について、毎年度の総代会で決定し実践・進捗管理を行うこととしました。不断の改革により持続可能な農業や地域、J A 組織の基盤を確立し、「第11次中期3か年計画」を自己改革プランとして位置づけ、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に向けた取り組みを実践しています。

なお、令和5年度上期の主な取り組み状況は以下の通りです。

1. 産地づくり10年ビジョンの実践

(1) J A 産地づくり10年ビジョンの実践と農家経営支援

- ① 地域営農ビジョンの実践による持続可能な産地づくりとして、ビジョン品目の推進を図るとともに進捗管理に努めました。
- ② 営農支援として、栽培講習会等を開催するとともに、営農支援システムを活用した個別巡回指導を行いました。
- ③ 巡回を通じて意見要望を収集しながら声を聴く運動を展開するとともに、担い手担当者会にて情報共有を行いました。
- ④ 第13回全国和牛能力共進会北海道大会出品に向けて、肉牛区体測および巡回指導を実施しました。
- ⑤ セリ前巡回および管理指導巡回を実施しながら肉用牛繁殖基盤の維持強化に取り組みました。

(2) 農業が持続される仕組みづくり

- ① 「専門塾」を開講し、栽培講習会等を開催しながら新規就農支援や次世代の担い手確保に向けて取り組みました。
- ② 生産農家への経営支援として、青色申告会員279名の決算支援を行い、32名の記帳代行決算指導支援を実施しました。

2. 組合員の収入拡大・コスト抑制対策

(1) 農業生産の拡大による所得確保

【農産】

- ① 農業政策、補助事業を活用した取り組みとして、水田での里芋・ごぼう・スイートコーン作付け推進を実施しました。
- ② 生産基盤の整備に向けて、ドローン防除を実施しました。
- ③ インショップ農家の加入促進を図るとともに、J A 産直市場広域店舗への出荷登録拡大を図りながら安定販売に向けて取り組みました。

【茶】

- ① 良質茶生産及び農家所得向上に向けて、個別巡回指導や茶市場等との相対取引を実施しました。
- ② 茶再製加工の収益向上の取り組みとして、令和新茶まつりに参加するとともに、子牛競り市・A コープ国分店での霧島茶販売会を実施しました。

【共通】

- ① 土壌診断（茶・園芸作物）を実施しました。
- ② 食の安心・安全システムの推進として、J-GAP・K-GAPの新規申請・継続申請を実施しました。

【畜産】

- ① 子牛商品性向上の取り組みとして、セリ市時にあいらぐんぐん子牛候補の選定、対象牛を決定しました。また、管内農家へ消毒槽、消毒液を配布し、防疫対策に取り組みました。さらに、肉振協と連携しながら肉用牛ワクチネーションプログラムを協議するとともに、定期的な農家巡回等を通じ

て基幹種雄牛を中心とした適正交配の推進、育成マニュアルを活用した管理指導を実施しました。

- ② 肥育農家（パイロット事業参加農家）の検討を行い、肉用牛肥育基盤の維持強化に取り組みました。

（2）結集力を活かした資材価格低減と取扱量の確保

【生産購買事業】

- ① 資材価格低減への取組みと出向く体制の構築に向けて、予約購買による価格対策や入札品目の拡大、低コスト肥料の普及などに取り組みました。また、経済渉外担当者による訪問活動を通じた情報発信や意見要望の収集など、農家の声を聴きながら価格高騰に対する施策を実施しました。

【農機事業】

- ① 農機事業の対応力強化に向けて、経済連ゆいポートとの連携による委託整備の取扱拡大を進めました。
- ② 中古農機のチラシを作成し、訪問活動等を通じて組合員へ情報発信を行い、中古農機再生販売強化に努めました。
- ③ 低コスト化への取組みとして、農機レンタル事業について広報誌に掲載しながら広く周知するとともに、取扱商品の拡大に努めました。

（3）組合員の利便性向上と購買事業の効率化

- ① 利用者の利便性を確保するため、経済渉外担当者による訪問活動の強化と相談機能の充実に努めました。また、拠点店舗での飼料集合販売の開催拡大や新たに肥料の集合販売を開催するなど利用者ニーズに合わせた取組みを実施しました。
- ② 購買店舗については、経済課直轄運営による業務の効率化を図りながらキャンペーン等を活用したキャッシュレス決済の促進や受注業務のDX化の検討など効率化に向けて取り組みました。また、農繁期の対応として、購買店舗の休日営業を実施しました。

（4）担い手の資金ニーズへの対応力強化

- ① JAバンク利子補給・保証料助成の効果的な活用に向けて、営農担当部署との連携によるメイン強化先訪問を実施しました。また、営農担当部署との情報連絡会を実施しながら情報共有を図りました。

（5）農業保障の取組強化と農業・地域への貢献

- ① 「ひと・いえ・くるま」に続く農業保障の取組みとして、農業者賠償責任共済の案内、熱中症対策チラシの配布を行いました。

3. 中長期シミュレーションに基づく対応

（1）業務効率化に向けた取組み

- ① 本所各部署・法人顧客への法人ネットバンクの導入を進め、事務効率化に取り組みました。

（2）調達コストの適正化と手数料収益確保対策

- ① 調達コストを意識した個人貯金の確保として、年金獲得に向けた全体運動（上期年金特別推進運動）を実施しました。

（3）余裕金運用による収益改善

- ① 有価証券（国債・地方債）による運用拡大に取り組みました。
- ② ローンキャンペーンを実施しました。

(4) 共済代理店への取組強化

- ① 共済代理店との関係を強化するため、支店・支所管理者による定期訪問を実施するとともに、全戸訪問活動の特別月間においては、金融部と連携を図り47代理店への訪問活動を実施しました。
- ② キャッシュレス事務手続きの活用促進に取り組みました。

4. 組合員の結集力強化戦略の実践

(1) 組合員の結集力強化による参加・参画の推進

- ① T A F 会を中心とした地域営農ビジョンへの取組みを継続しながら、出向く体制による声を聴く運動を実施しました。

(2) 共済事業の長期安定的な展開

- ① J A の事業活動を通じた農業・地域への貢献として自動車共済および建物更生共済のお見積キャンペーンを実施しました。また、農家世帯に対し、農業リスク診断活動の一環として農業賠償責任共済の案内を実施しました。

(3) 組合員の結集力強化戦略の実践を通じた協同組合らしい事業・活動の展開

- ① 地域貢献活動の積極的な展開として、全部署で結集力強化戦略に基づく行動計画を策定し、取り組みました。
- ② J A と組合員・地域住民のきずなを深める活動の一環として、全職員で実施する全戸訪問活動では、延べ3,414件の面談を行い、組合員の声を聴く活動に取り組みました。
- ③ 地区別説明会ならびに第1・四半期のあらゆる機会を通じて出された意見・要望とその回答について広報誌・HPへ掲載しながらフィードバックを行いました。
- ④ 地域のライフラインを確保するために移動販売車、移動金融車、送迎サービスを継続して運行しました。また、意見・要望等を聴きながら情報を収集し、更なる機能向上・利用促進となるよう取り組みを進めています。

V 役員紹介

役職名	氏名	常勤・非常勤の別	代表権の有無	担当その他	地区
代表理事組合長	中 條 秀 二	常 勤	有		霧島(国分区域)
代表理事常務	重 留 智 明	常 勤	有	経 済 担 当 常 務	学 識 経 験
常 務 理 事	池 澤 正 信	常 勤	無	金 融 共 済 担 当 常 務	学 識 経 験
理 事	木 佐 貫 晋 一	非 常 勤	無		始 良 (加 治 木 区 域)
理 事	平 富 士 夫	非 常 勤	無	経 済 委 員 会 委 員 長	始 良 (始 良 区 域)
理 事	上 野 洋 一	非 常 勤	無		始 良 (始 良 区 域)
理 事	原 田 良 孝	非 常 勤	無	総 務 金 融 共 済 委 員 会 委 員 長	始 良 (蒲 生 区 域)
理 事	松 元 深	非 常 勤	無		霧 島 (溝 辺 区 域)
理 事	森 元 弘 之	非 常 勤	無		霧 島 (横 川 区 域)
理 事	宮 園 昭 一	非 常 勤	無		湧 水 区 域
理 事	大 重 毅	非 常 勤	無		湧 水 区 域
理 事	塚 田 純 二	非 常 勤	無		霧 島 (牧 園 区 域)
理 事	中 村 和 志	非 常 勤	無		霧 島 (隼 人 区 域)
理 事	松 元 洋 一	非 常 勤	無		霧 島 (隼 人 区 域)
理 事	尾 谷 光 幸	非 常 勤	無		霧 島 (霧 島 区 域)
理 事	今 村 浩 一	非 常 勤	無	債 権 対 策 委 員 会 委 員 長	霧 島 (国 分 区 域)
理 事	仮 屋 秀 次	非 常 勤	無		霧 島 (福 山 区 域)
理 事	久 留 須 美 鈴	非 常 勤	無		女 性 理 事
理 事	西 堂 路 美 鈴	非 常 勤	無		女 性 理 事
監 事	窪 田 安 廣	非 常 勤	—	代 表 監 事	西 部 ブ ロ ッ ク
常 勤 監 事	竹 下 幸 治	常 勤	—	学 識 経 験 監 事	学 識 経 験
監 事	花 堂 誠	非 常 勤	—		中 北 部 ブ ロ ッ ク
監 事	沼 田 勉	非 常 勤	—		東 部 ブ ロ ッ ク
監 事	吉 松 輝 夫	非 常 勤	—		東 部 ブ ロ ッ ク
監 事	松 下 欣 隆	非 常 勤	—	員 外 監 事	員 外

VI 店舗一覧

○はオンライン店舗を示しています。

令和5年11月

店 舗 名	所 在 地	電話番号	備 考
○ 本 所	〒899-4332 霧島市国分中央三丁目3番10号	0995-55-7300	
○ 霧島市役所支所	〒899-4394 // 国分中央三丁目45番1号	48-6303	A T M 1
○ 加 治 木 支 所	〒899-5231 始良市加治木町反土2020番地	63-1133	A T M 2
○ 始 良 町 支 所	〒899-5421 // 東餅田470番地5	65-3131	A T M 4
○ 蒲 生 支 所	〒899-5302 // 蒲生町上久徳2532番地	52-1135	A T M 1
○ 溝 辺 支 所	〒899-6401 霧島市溝辺町有川320番地	59-2211	A T M 1
○ 横 川 支 所	〒899-6303 // 横川町中ノ277番地	72-0311	
○ 栗 野 支 所	〒899-6201 始良郡湧水町木場754番地	74-3151	A T M 1
○ 吉 松 支 所	〒899-6104 // 湧水町川西1113番地7	75-2121	A T M 1
○ 牧 園 支 所	〒899-6507 霧島市牧園町宿窪田1365番地1	76-1121	A T M 1
○ 隼 人 支 所	〒899-5106 // 隼人町内山田一丁目7番1号	42-1121	A T M 3
日 当 山 支 所	〒899-5115 // // 東郷1251番地1	42-1141	
○ 霧 島 支 所	〒899-4203 // 霧島大窪387番地3	57-1211	A T M 1
○ 国 分 支 所	〒899-4332 // 国分中央三丁目3番10号	45-1033	A T M 3
清 水 支 所	〒899-4304 // // 清水一丁目22番33号	45-0046	A T M 1
○ 牧 之 原 支 所	〒899-4501 // 福山町福山5344番地1	56-2201	A T M 1



あいら 農業協同組合

〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央三丁目3番10号
 ☎ 〈代表電話〉 0995-55-7300

加治木支所	☎63-1133	吉松支所	☎75-2121
始良支店	☎65-3131	牧園支所	☎76-1121
蒲生支所	☎52-1135	隼人支所	☎42-1121
溝辺支店	☎59-2211	霧島支所	☎57-1211
横川支所	☎72-0311	国分支店	☎45-1033
栗野支所	☎74-3151	福山支所	☎56-2201